

太宰府市歴史と文化の環境税運営協議会会長

ふく うら いく み
福浦 幾巳 さん

太宰府市のまちづくりと租税研究と実践を生業とする私との関わりは、四半世紀にも及んでいます。わが国における近現代の学問は、明治以降、時代が推移するにつれて細分化され、とかく専門外の歴史・文化の営みを避ける無味乾燥なものになってきているようです。太宰府市との縁もあるのでしょうか、私は時折、古代、中世および江戸時代の租税負担はどうであったか、そのときの庶民の生活ぶりはどうであったかなど、歴史に思いを馳せるようになりました。その時分の人々の生活の実相を深く知りたくなったからです。

「令和」にちなむ「万葉集」にも租税に触れた一節があることも知りました。一例として、「万葉集」19巻、4238番には、「君が行きもし久にあらば梅柳 誰れともにか我がかづらかむ」というくだりがあります。正税帳をもって京に赴く友との別離の宴での大伴家持の歌ですが、これなどはまさに万巻の歴史書にも劣らない実相を教えてくれています。コロナ下、「歴史と文化の環境税」が1000年後の歴史書にいかにうたわれているだろうか。いまは万感の思いがこみ上げてきているところです。



トピックス

市政

仕事納め式・始め式を実施しました

本市では、一年の納め、年の始めの節目を大切にすべく例年仕事納め式と仕事始め式を実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大の背景を受け、今回は式は課長以上に人数を制限して行い、他の職員には映像とメールでメッセージを伝えました。

楠田大蔵市長は、仕事納めでは、コロナ対策に追われるなかでも斬新な施策を実行するなど危機対応力を証明し、まちづくりビジョンの策定やふるさと納税の着実な増加、都市ランキングの急上昇など結果を残して来たことに賛辞と労いの言葉を送りました。

また、仕事始めでは、年末年始も役所に詰めて対応に努めてくれた職員に労いをするとともに、集大成と書いた書き初めを示し、反転攻勢、史跡指定100年を迎えての取組、まちづくりビジョンを軸とした施策の実行など目指すべき方向性を職員と共有しました。

特集

私のだざいふ、トピックス	…2～3
新型コロナウイルス感染症対策について	…4
史跡指定100年記念事業を実施します	…5
12月議会楠田大蔵市長冒頭あいさつ	…6
住みよい街2020などにランクイン	…7
正規職員の保健師と会計年度任用職員を募集します！	…8
スポーツ推進委員だより	…9
令和3年度(令和2年分)の税の申告受付を開始	…10
消防団の活動をご存じですか？	…12
だざいふ景観・市民遺産フェスタ2021を開催します	…13
ダンボールコンポストを使って生ごみ減量！	…14
市からのお知らせ	…15～18
連載	…19～26
なんでも情報コーナー	…27～33
太宰府の文化財	…34



仕事納め式での様子



仕事始め式での様子